

日文

民主共和国の父



孫文先生

1866—1925



展覧時間

毎日 09:00 から 18:00 まで

(旧暦の大晦日、1月1日は電気設備等保守点検のため休館日となります。)

展覧場所

国立国父記念館一階 史蹟東室



A

救国のために学ぶ

初めて目にする巨大な船舶や大海に衝撃を受け、西洋の学問を修め、天下の思想を極める決心をした。

中山先生は14歳(1879年)の時、母と兄に伴ってホノルルに渡り、初めて西洋文明とキリスト教の教義に触れた。この経験は彼の視野を広げ、中山少年に大志を抱かせ、後に成し遂げられた偉業の原点となった。そして1892年、彼は香港西医書院を首席で卒業した。

B

偉大な志

学校を思想宣揚の場とし、医学を身に付け、医師として開業した。

青年時代、中山先生は香港で医学を学んだが、当時よく楊鶴齡、陳少白、允列等と共に革命について議論を交わしていたため、人々に「四大寇-四人の謀反人」と呼ばれていた。1894年、中山先生は満腔の革新的精神をもって李鴻章に改革を訴える意見書を提出したが採用されず、いよいよ革命意識が喚起された。

C

革命運動

清朝を打倒し、中華を復興させ、民国を樹立する。

1894年、甲午戦争(日清戦争)の最中、中山先生はホノルルに赴き興中会を創設した。興中会は中国近代革命組織の発端となり、華僑や青年志士の幅広い支持を得て、17年にわたる奮闘と10回の武装蜂起失敗を経て、ついに武昌にて武装蜂起に成功し、数千年におよぶ専制統治を終結させ、中国を民主共和国へと導いた。

D

民主共和国の父

四億人の幸福を図ること、それが博愛である。

辛亥革命の成功を受けて、孫文先生は1912年1月1日、中華民国の臨時大總統就任を宣言し、南京に臨時政府が成立した。そして臨時参議院が組織され、さらに憲法に相当する中華民国臨時約法が公布され、共和民主国家の新時代が開かれた。孫文先生は終生、国家の共和を守り、中国を統一した富強国にするために全身全霊を捧げた。1940年、中華民国政府は孫文先生を中華民国の国父とすることを公布した。

E

理想の実現

余の革命主義は、要約すれば、三民主義と五権憲法である。

孫文先生は生前に五権憲法の制定をみることはなかったが、革命の後継者たちが絶え間ない努力を続け、孫文先生の提唱した建国の青写真、つまり軍政、訓政、憲政という三段階を経て建国を実現した。そして台湾において事実上、民生主義と民主共和の理想が実現された。

F

我々の孫文

人々は人民に尽くすことを目標とし、利権を奪い合うことを目的としない。

孫文先生は広く世の人々の尊敬を集めている歴史的偉人で、後世の人々は様々な形で孫文先生を偲び、感謝の念を表している。その思想と学説は今日でも研究が続けられ、発揚されており、更に兩岸(台湾と中国)の平和的発展の礎となっている。

開館時間



【開館時間】

展覧会場 開館時間：毎日9：00から18：00まで

(旧暦の大晦日、1月1日は電気設備等保守点検のため休館日となります。)

市民サービス及び専用窓口ホットライン：(02)2725-5891

お問い合わせ電話番号：(02)2758-8008~15

団体等対応サービスお問い合わせ電話番号：(02)2758-8008#527

住所：11073台北市信義区仁愛路4段505号

ホームページ：<http://www.yatsen.gov.tw>

メールアドレス：sun@yatsen.gov.tw

ガイド予約時間：毎日午前9：00から17：00まで

【パーキングインフォメーション】

1. MRT国父記念館2番出口隣に僑安駐車場あり
2. 近隣の台北市政府地下に有料駐車場あり
3. 国父記念館委託経営の第一停車場(光復南路マクドナルド向かい側)及び第二駐車場(忠孝東路入口)あり

展覧会場平面配置図

メインホール

出入り口

イントロダク
ションコーナー

サービス
カウンター

建国大綱



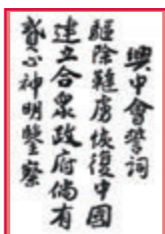
西医書院修学当時、「四大寇」と呼ばれた友人たちと一日中、革命について議論を交わす。左より楊鶴齡、孫中山、陳少白、尤列。(後ろに立つのはクラスメートの関景良)。



鄭観応著『盛世危言』の一文 - 「人がよくその才を尽くし、土地がよくその用を尽くし、物資がよくその流れを暢ばす」という主張は、中山先生が李鴻章に送った書簡の論点に類似している。



後に広東博濟医院によって建てられた記念碑



興中會の宣誓文



1895年、陸皓東によりデザインされ、中山先生によって描かれた革命旗、及びその説明。



1911年11月、武昌蜂起の成功後にロンドンで雑誌『浜海』のインタビューを受ける。



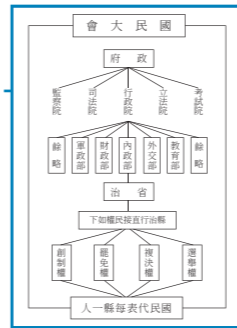
中山先生ご一家の写真

姓名	成績	姓名	成績
孫中山	...	楊鶴齡	...
陳少白	...	尤列	...
...

香港西医書院当時の成績表

直筆の自伝

直筆の自伝



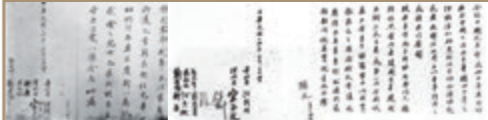
民権主義の実現 - 五権憲法における政府組織図。



民国六年～七年(1917-1918年)、『孫文学説』、『実業計画』、『民権初歩』を著し、合わせて『建国方略』となす。



民国三十五年(1946年)、呉稚暉が憲法制定代表主席として、国民政府主席の蔣中正に「中華民国憲法」を手渡し、民権主義の憲政の理想を実現した。



孫文先生が家族に残された遺言、孫文先生が国家に残された遺言。



民国二十九年(1940年)4月1日、国民政府は孫文先生を「中華民国国父」と尊称するよう全国に訓令を發布した。



米国で発行されたリンカーンと孫文の記念切手。

中華民國臨時大總統宣誓書



民国十年(1921年)5月5日、広州にて非常大總統に就任



民国十三年(1924年)6月16日、黄埔陸軍軍官学校の開校式典後の記念撮影。

救国の為に学ぶ

理想の実現

我々の孫文

偉大な志

革命運動

民主共和国の父

東側
出入り口